



【『生石(おうしこ)神社』の迎春風景 高砂市阿弥陀町生石】 写真提供者 都倉 昇

『生石(おうしこ)神社』は、高砂市阿弥陀町生石の宝殿山山腹にある、日本三奇の一つ石乃寶殿を御神体として祀られている神社です。この神社の創建は古く、崇神天皇の時代(西暦97年頃)に遡るそうです。社伝によりますと、国内に疫病が流行し人々が苦しんでいる時、石乃寶殿に鎮まる二神が夢枕に現れ、祀るようにお告げがあり、生石神社が創建されたと伝えられています。

日本三奇とは古くから「奇跡」と伝えられている建造物で、いつ、だれが、何のために作ったのか明確な答えが未だない、宮城県塩竈市 御釜神社の『四口の神竈(よんくのしんかま)』、宮崎県西諸県郡高原町 霧島東神社の『天之逆鉾(あまのさかほこ)』、そして、この 生石(おうしこ)神社の『石乃寶殿(いしのほうでん)』を言います。興味のある方は一度足を運ばれては如何でしょうか。

| | | | |
|-----------------------------|-------|-------|---|
| 2019年の年頭に当たって | 院長 | 浅香 隆久 | 2 |
| 摂食・嚥下院内認定重心看護師の活動 | 西2病棟 | 三輪 順子 | 3 |
| 重心患者の脊柱彎曲を正確に評価する方法 | 外科部長 | 平井 二郎 | 4 |
| クリスマス会を開催して | 療育指導室 | 隅田 和恵 | 6 |
| 播磨の景勝地 ～高砂市阿弥陀町『石乃寶殿・生石神社』～ | | | 7 |
| 外来診察・検査担当表 | | | 8 |

2019年の年頭に当たって

あさか たかひさ
院長 浅香 隆久



皆さん、
明けまして
おめでとう
ございます。

去年は、
兵庫あおの
病院職員全
員の力で障

害者施設等入院基本料の看護基準7：1取得を実現することができました。その成果として、入院・入所している方々をきめ細かく看たり、お世話したりできるようになってきたのではないかと考えています。一方で7：1を今年も安定的に維持していくためには職員皆さんの協力を得ながら看護師の確保に心を砕かなければならなくなってきたのも事実です。入院・入所されている方々により良い医療を受けてもらうためにはようやく実現したことであり、医療の質と内容を後退させないための医師・看護師等の「優秀な人材の確保」問題がクローズアップされた一年でもありました。

さて、今年は亥年です。亥年というとイノシシのイメージから「猪突猛進」（映画「もののけ姫」の乙事主も最期に自然を破壊する人間に向かって猛進しましたね）という言葉が思い浮かびます。しかし、今年は働き方改革元年となる年で、猛進するのではなくちょっとスローに

余裕をもって進んで行くことが求められている年であるとも言えます。

厚生労働省の「働き方改革に関する検討会」の言葉を借りるなら、「働く人一人ひとりがより良い将来の展望を持ち得る」ために「労使が先頭に立って、働き方の根本にある長時間労働の文化を変えることが強く期待されている」ということになります。他方、日進月歩の医療技術、最近のより質の高い医療に対するニーズの高まり、患者さんへのきめ細かな対応が求められる傾向等とうまく調和させて働き方改革を進めて行かないと、兵庫あおの病院が行っている医療の根本基盤が揺るぎかねない事態にならないとも限りません。また、7：1実現もそうでしたが、患者さんを含め皆が「良かった」「ハッピーだ」と思えるような働き方改革でないという意味がありません。

兵庫あおの病院に於いて、その意味でこれからますます重要になってくるのが「チーム医療」だと思っています。医師同士、看護師同士、多種多様な医療技術者間同士、色々な部門の事務職員間同士だけでなく、職種の垣根を越えて、お互いの立場と持てる力を理解した上での「チーム医療」による更なる連携が、兵庫あおの病院に於いては求められていると考えています。

皆さん、今年もよろしくお願ひいたします。



～多可郡多可町八千代区俵田にて～

摂食・嚥下院内認定重心看護師の活動

西 2 病棟 看護師 ^{み わ} 三輪 ^{じゅんこ} 順子

兵庫あおの病院は、平成 26 年度に院内認定重心看護師制度が発足され、私は受験資格であった重病棟 5 年以上の経験もあり、また、口腔ケアや摂食に対するの興味もあり認定資格を取得しました。

今までは、年 2 回、病院で開催されている支援講座でファシリテーターとして参加しているほか、新採用者に対する研修などを行っていますが、メンバーが揃って活動することはできていませんでした。今年度、活動を見直す機会をいただき、現在、病棟ラウンド（第 1 月曜日 11 時 45 分～）や、勉強会の開

催（10 月 30 日終了）、重病棟で活用している摂食シートの見直しをしています。

今後も、摂食・嚥下院内認定重心看護師 5 人で連携し、問題解決が困難な事例や、問題に対するの適切な助言を行うことができ、患者様が安全に食事を行えるように、病棟ラウンドを継続して行い、摂食嚥下に対して、少しでも多くの知識を持って食事介助に関わることができるように取り組んでいきたいと思っています。何かありましたら、摂食嚥下院内認定重心看護師までご相談していただければと思います。



重心患者の脊柱彎曲を正確に評価する方法

外科部長 平井 二郎
ひらい じろう

【はじめに】

庶務の M さんから、この「あおのだより」に「国病学会等で発表している研究に関して何か書いて欲しい」と依頼を受けてこの原稿を書いています。「研究」と言えるほど大したものではありませんが、いい機会なのでこれまでの経緯と今後の展望について書かせていただきます。

【原点】

旧病院で CT 装置が故障したことから、2011年10月に現在の MDCT 装置が導入されました。その際、私自身は外科医ですが、放射線科医長（併任）という立場だったこともあり、「重心患者の側彎症を CT で評価できないか」という依頼を理学療法士さん達から受けました。そのことがきっかけです。

【発想】

CT 装置のいろいろな機能を試してみても、「何とかかなりそうだな」という感触は得ていましたが、直ぐには具体的な方法は思いつきませんでした。「MPR（多断面再構成）画面上にある画像を自由に回転できる機能を利用すれば解決するだろう」という漠然とした考えを頭の片隅に入れておいた期間が1ヶ月位あったと思います。ある時、大学入試の数学のベクトル問題に触れる機会があり、ぴんとききました。画像の回転角度から脊椎一つ一つの側彎・前後彎・回旋方向がベクトルとして計算できることを思いついたのです。

【学会発表】

その発想をもとに2012年11月、放射線科 N 君に国病学会（神戸）で CT でのベクトルの計測方法について発表してもらいました。タイトルは「重度脳性麻痺患者脊柱彎曲の MPR 画像による計測の実際」で、そのセッションでのベスト口演賞を戴きました。

【修正】

それ以降は毎年、少しずつ修正を加えながら、私自身が国病学会で発表を続けています。要点をかいつまんで言うと、最初は（従来の Cobb 法との対比から）ベクトル間の角度だけを評価項目にしていたましたが、基準を動かさずに1つの平面上にベクトル終点をプロットすることにより、「脊柱彎曲全体を1つの曲線として表示するようにしたこと」、さらにベクトル間の角度を合計することにより、「脊柱彎曲全体の程度として評価するようにしたこと」です。これらのことは、地域医療連携室 W 女史の助けによるところが大きいです。

【データ集積による知見】

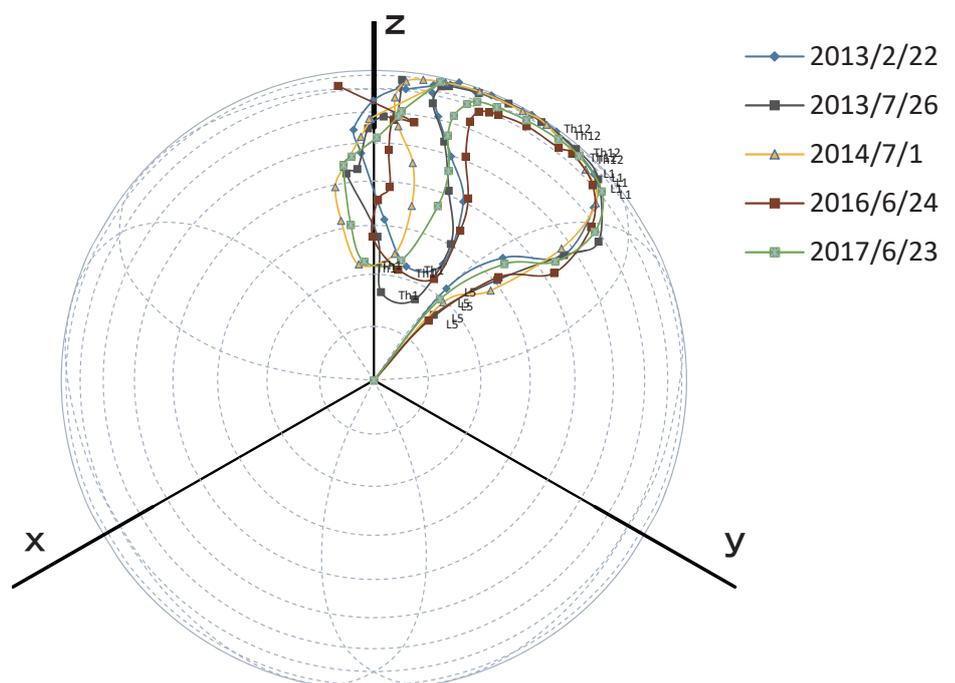
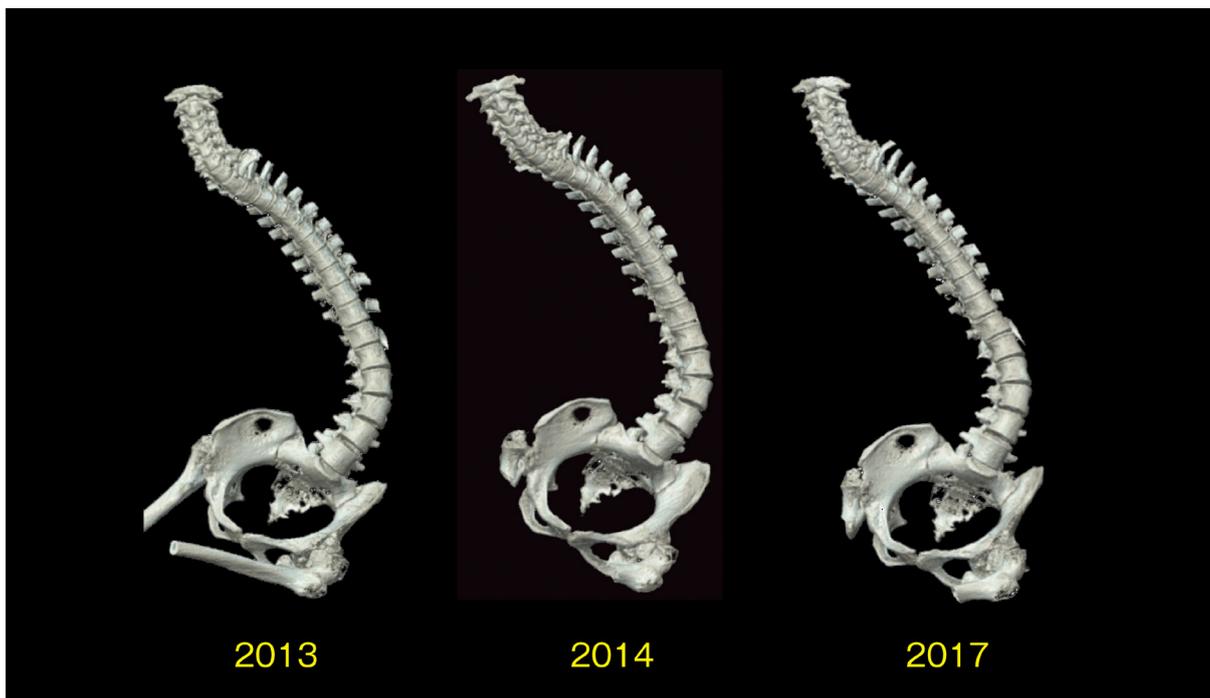
6年間のデータ集積により、いくつかの知見が得られ、2018年11月の国病学会では以下のことを発表しました。1. 重心患者の脊柱彎曲は年齢が進むにつれて増悪する、特に男性と若年齢でその傾向が大きいということ、2. 筋緊張に対する治療（ボツリヌス療法、ITB 療法など）により、脊柱彎曲が軽減すること、etc です。

【今後の課題】

学会で発表すると興味を持たれる方は多いのですが、なかなかその場で原理や方法まで理解するところまでには至らないようです。何とか、論文にまとめて発表し、まず側彎症を診療している整形外科医に認知されるようにすることが、必要だと思っています。また、普及させるにはソフト化が必須のことと感じています。そのためには、計測方法の標準化、さらにプログラム作りが必要で、現在準備を進めています。

【終わりに】

最後に、ある患者さんの3DCT像とそれを「ベクトル球面表示法」で表した場合のグラフを示します。この記事を読まれて、興味を持たれた方、疑問が生じた方がいれば、何でもお問い合わせください。



クリスマス会を開催して

すみだ かずえ
療育指導室 保育士 隅田 和恵

12月4日を皮切りに、5日・6日・11日・12日・13日と6日間に渡ってクリスマス会が行われました。

学校の先生方による♪ラストクリスマス♪でクリスマス会の幕が開き、ギター演奏とブロードヘアーをなびかせた歌姫の美しい歌声に合わせて先生方のダンスが披露されました。ゲームが開始されると療育指導室選りすぐりのフロアレディ達が患者様とそのご家族の元に赴きクイズの『選んで!』『聴いて!』『触れて!』のテーマの元、五感と体

をフル稼働させてクイズを楽しみました。サンタクロース&トナカイが登場すると皆、最初は驚きましたが一人ひとりプレゼントを受け取るとこぼれるような笑顔が見られました。『来年もみんな元気な笑顔でサンタクロースに会えますように・・・』と願わずにはいられませんでした。

最後になりましたが守る会の保護者のみなさま、各関係機関のみなさまには色々とお世話になり本当にありがとうございました。心より感謝いたします。



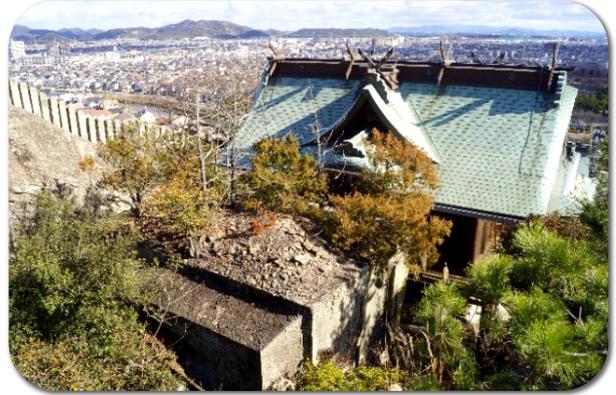
ちょっと一息

播磨の景勝地

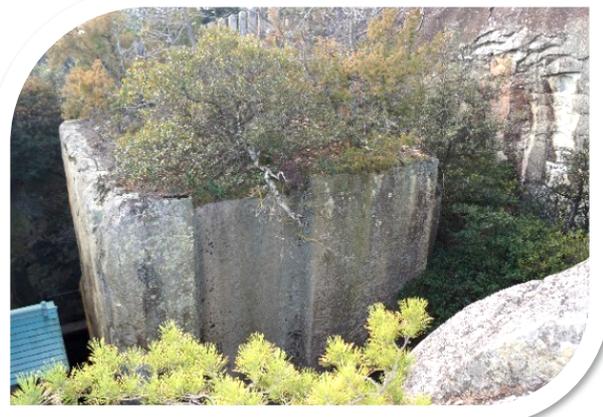
【石乃寶殿・生石神社】



生石神社の正面鳥居・奥が拝殿



生石神社本殿と御神体である石乃寶殿(手前)
遠くに高砂市の町並みを望む



御神体である石乃寶殿



『霊岩』石乃寶殿の分岩で、全身の力を込めて押すと、必ずや神様から偉大なる力をお授け下さるとのこと。



宝殿山の山上公園登り口



宝殿山の頂上は滑らかな岩肌が広がっている。
中央の石塔は大正天皇行幸之碑

兵庫あおの病院 診察・検査担当表

外来診療担当表

平成31年1月1日現在

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------|---------------------|-----|---------------------------------------|---------|------------------------------------|--------|-----------------------------------|
| 内科 | 午前 | 診察1 | 八幡 知之 | 中原 由紀子 | 陣内 研二 | 浅香 隆久 | |
| | | 診察2 | 義富 辰夫 | 石田 純一郎※ | 松山 榮一 | 中原 由紀子 | 松尾 洋介 |
| | | 診察3 | 玉田 直己 (1・4週)/ 吉田 尚史 (2・3・5週) | 中山 昌彦※ | 義富 辰夫※ | 義富 辰夫※ | 中山 昌彦※ |
| | 午後 | | 義富 辰夫※ | 中山 昌彦※ | 義富 辰夫※ | 義富 辰夫※ | |
| 外科 | | 診察5 | 青木 文明 | 平井 二郎 | 梅木 雅彦※ | 平井 二郎 | 梅木 雅彦※ |
| 整形外科 | | 診察6 | | 平井 和雄※ | 平井 和雄※ (隔週)/ 藤岡 宏行※ (不定期) | | 藤岡 宏幸 (第2・4週) 午後交代制 (毎週) |
| リハビリテーション科 | | 診察5 | 青木 文明 | 平井 二郎 | 梅木 雅彦 | 平井 二郎 | 梅木 雅彦 |
| 小児科 | | 診察7 | | | | 木藤 嘉彦 | |
| 専門 外来 | 心身症外来 | | | | | | 郷間 英世◇ |
| | 緩和ケア科 | | | 梅木 雅彦※ | | | |
| | 呼吸器・血管外科 | | | 平井 二郎※ | | 平井 二郎※ | |
| | 内分泌・アレルギー外来 (午後) | | | 木藤 嘉彦※ | | 木藤 嘉彦※ | |
| | 渡航外来 (午後) | | | 浅香 隆久※ | | 八幡 知之※ | |

診療受付は平日の午前8:30～午前11:30です。

※ 印の外来診療は予約診療です。予約を取り、予約票をお持ち下さい。ただし、初診・急病の場合は予約なしでも、診察を行っています。

◇印の外来診療は予約患者様のための診察となります。(初診の方の診察は行っていません)

診療担当医が都合により変更となる場合がありますが、ご了承下さい。

患者様の状態により、診察の順番が前後する場合がありますがご了承下さい。

整形外科診察日には、リハビリテーション科の診察は休診となりますが、リハビリテーション科患者様の診察も行います。

検査担当表

| 検査内容 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|---|---|---|-------|---|
| 胃カメラ(午前) | | | | 服部 三太 | |
| 大腸ファイバー(午後) | | | | 服部 三太 | |

※検査はすべて予約診療です。

入院患者様診療

| 診療科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------|--------|---|------------------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 小児科 | | | 坊 亮輔 | 富井 敏宏 都間 佑介 (交替制) | 金田 大介 河辺 泰宏 (交替制) |
| 小児外科 | | | | 竹内 雄毅 久野 克也 (第2・4週) | |
| 形成外科 | | | 藤井 美樹 (毎月第3週) | | |
| 皮膚科 | | | 加藤 則人 (毎月1回) 益田 浩司 (毎月1回) | 金子 由佳 (毎月1回) | 浅井 純 (毎月第3週) |
| 耳鼻いんこう科 | | | 吉本 公一郎 | | |
| 歯科 | 古土井 春吾 | | | | 明石 昌也 |

兵庫あおの病院 電話 0794-62-5533(代)